

2024年4月4日

原山化成工業株式会社様における都市ガスへの燃料転換について ～都市ガスへの転換により、脱炭素社会の実現に貢献～

北陸ガス株式会社（本社：新潟県新潟市／代表取締役社長：敦井一友）は、原山化成工業株式会社様（本社：新潟県見附市／代表取締役：原山義史様）の見附柳橋工場において、都市ガスへの燃料転換工事を完了し、都市ガスの供給を1月20日に開始いたしました。



原山化成工業株式会社 見附柳橋工場



採用したボイラ

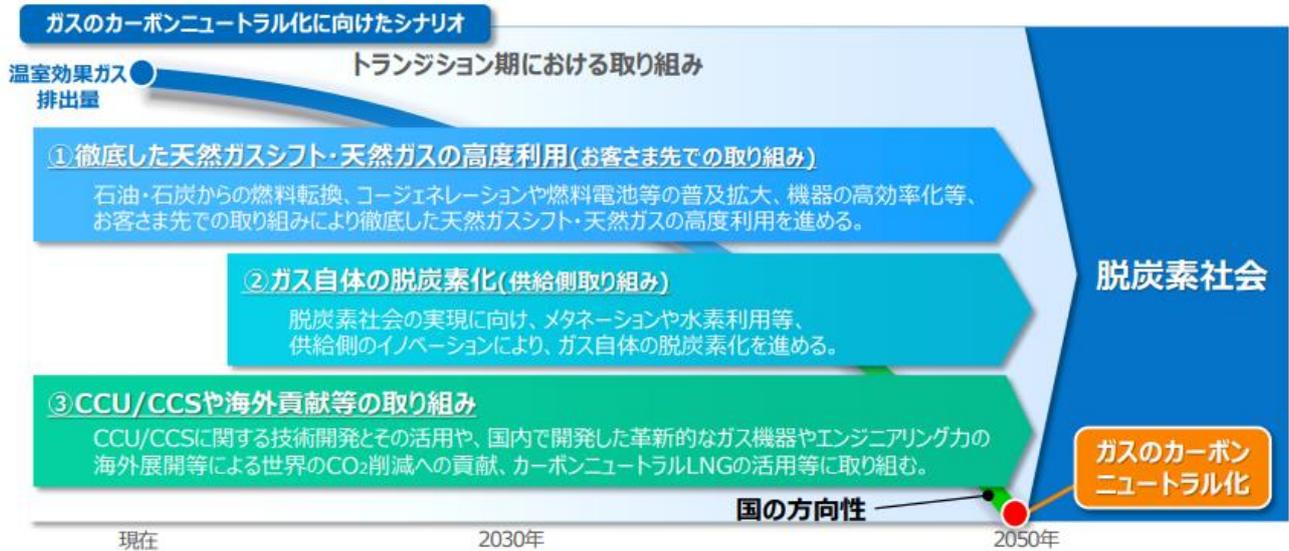
同社の見附柳橋工場では、生産工程におけるボイラの燃料を重油から都市ガスに燃料転換していただきました。都市ガスへの燃料転換により、供給開始から3月末時点で約73トンのCO₂排出量の削減を実現しています（工場内全体でのCO₂削減率：29%）。

また、当社が都市ガスを供給しているエリアにおいて、原山化成工業株式会社様以外にも2023年度内に6件の業務用・産業用用途のお客さまより都市ガスへの燃料転換を実施いただきました。計7件のお客さま先において、年間で合計約606トンのCO₂排出量の削減が見込まれています。

日本ガス協会では、ガスのカーボンニュートラル化による脱炭素社会への貢献を図るため、「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を公表しています。2050年カーボンニュートラルまでのトランジション期においては、燃焼時のCO₂排出量が少ない天然ガスへの燃料転換や、効率の良い天然ガス利用機器の導入等による省エネが有効な対策であり、当社を含め業界を挙げて積極的に取り組んでいます。また、これらの取り組みに加えて、発生するCO₂を実質ゼロとみなすカーボンニュートラル都市ガスの導入も効果的であり、当社においても採用していただくお客さまが増えています。

当社は、昨年6月2日に創立110周年を迎え、新たにコーポレートスローガン「ずっと近くで、にいがたを想う。」を制定しました。今後も都市ガスへの燃料転換やカーボンニュートラル都市ガスの普及促進に取り組み、新コーポレートスローガンの考えのもと、新潟のお客さま先におけるCO₂削減を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

(参考) ガスのカーボンニュートラル化に向けたシナリオ※ (出典：日本ガス協会 HP)



※詳細はこちら 日本ガス協会「Go! ガステナブル」 <https://www.gas.or.jp/gastainable/>



北陸ガス株式会社は、SDGsの達成に向けて積極的に取り組んでおり、SDGsの達成に関連するプレスリリースには、「SDGsの目標アイコン」を明示しております。

<お問い合わせ先>北陸ガス株式会社 企画グループ 担当 笹川

TEL : 025-245-2214 e-mail : youuchi@hokurikugas.co.jp